

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	光機能性分子の開発と医療への応用
研究代表者	長野 哲雄
審査の所見	<p>本研究は、医療診断や創薬に応用できる種々の低分子プローブを開発することを目的とする。応募者は、細胞生物学研究に主に用いる分子イメージングのために、「蛍光制御原理」に基づく新しい蛍光プローブを次々と開発することで極めて高い成果を上げており、市販試薬として提供もしている当分野の第一人者である。本研究は応募者の実績を基に提案されたものであり、分子生物学など学術的にも、また、医療への応用からも世界トップの研究成果が期待される。一方で、他の研究費の研究内容との仕分けについて懸念もあったが、特別推進研究として推進することが適当と考えられ、採択すべき課題であると判断した。</p>